

年 組 () 名前

サイン



※先生やうちの人のいっしょに読みましょう。

◆来年の干支「巳」にちなんだ動物の置物作りがピークを迎えています。

ひよっこり 福よ来い

来年の干支「巳」にちなんだへびの置物作りが、奈良県香芝市の障害者就労支援施設「Good Job! センター香芝」で行われている＝写真、金沢修撮影＝。

開運を願う「鏡開き」にちなみ、樽からへびが顔を出したデザインの陶器や張り子で、通所者らが一つひとつ手作業で絵付けしている。12月中旬までに4000個以上を生産し、国内外の小売店に出荷する。

(2024年10月8日 読売新聞大阪夕刊より)

干支 = 中国から伝わった
年の数え方。12種類の動物
で表すことが多い。

【1】写真は何という動物の置物ですか。

【発展問題】干支で出てくる12種類の動物を調べ、裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆世界には食事が十分にとれない人がたくさんいる中で、まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が問題になっています。飲食店での食べ残しを減らすために、国が対策に乗り出しました。

食べ残し 持ち帰りにルール

まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」。日本でも年間472万トンとされています。飲食店で食べ残した食品を持ち帰ることができれば、ロスを減ら

すことができます。

でもこの時気を付けなければならないのは「食中毒」。料理は加熱によって食中毒の原因となる菌を減らしますが、その後、冷

めた料理は有害な毒を出す雑菌が増えるリスクが高まるのです。

このため国は10月16日、安全に持ち帰りができるようガイドラインの案を公表しました。客は、雑菌を増やさないよう、きれいな使い捨ての手袋を使って詰めます。店側は、きれいな手袋や容器を用意します。

生ものはダメ

持ち帰りができる料理には、パンやフライドチキンなど中まで十分に加熱され、食中毒の原因となる雑菌が増えにくい食べ物が挙げられています。反対に、サラダや刺身などの生ものは、食中毒のリスクが高いため、持ち帰らないよう呼びかけています。

(2024年10月24日 読売KODOMO新聞より)

食べ残しを持ち帰るためのガイドライン案

客	店
手の消毒、使い捨て手袋を使う	消毒剤、使い捨て手袋、保冷剤の用意
保冷剤を使って、速やかに帰宅する	持ち帰り容器を清潔に保管
食べ残した本人が食べる	持ち帰りができる料理の検討
	例をえば： ○パン、焼き魚、フライドチキン、ピラフ ×サラダ、刺身、ドリンク

【1】食品を持ち帰る時に気をつけることを記事から読み取って、書きましょう。

【2】飲食店での食べ残しを減らすために、あなたにできることを考えて書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

18歳
成人

テーマ

衆院選

◆近年の選挙は、10代の投票率が低迷しています。今年10月に行われた衆院選は、どうだったのでしょうか。

若者の投票率アップ策は

国政選挙の投票率の比較



成美 若い人の投票率が低いと聞いたよ。

記者 その通りです。2021年の前回衆院選では、全体の投票率は55・9%でしたが、18、19歳の投票率は43・2%でした。投票できる年齢が、15年の公職選挙法改正で「18歳以上」に引き下げられて以降、参院選も含めて5回の国政選挙がありました。10歳代の投票率は毎回、全体の投票率を下回っています。

成美 なぜ若い人が投票に行かないのかな。

記者 公益財団法人「明るい選挙推進協会」が、前回衆院選で投票しなかった10〜20歳代に棄権した理由をアンケートで聞いたところ、46・7%が「あまり関心なかった」を選びました。

全世代に同じ質問をしたところ、この理由を選んだ人は30・2%にとどまり、政治や選挙に無関心な人が若い世代に多い傾向が浮かび上がります。社会経験が少ないためか、多くが「自分の生活と関係ない」「投票しても何も変わらない」と思っているようです。

成彦 でも、若者の投票率が低いと何が問題なのか、よく分からない。

記者 こう考えると分かりやすいでしょう。もし成彦君が政治家だったら、投票率が高い世代に支持されそうな政策を選挙で訴えた方が当選しやすいと考えるのではないのでしょうか。当選後は、その人たちの期待に応える政治をすることになるでしょう。若者の投票率が低いことは、自分たちの考えが政治に反映されにくい状況を生み出しているのです。

成彦 だから投票に行くことが大事なのか。どうすれば僕たちの世代が政治に関心を持てるんだろう。

記者 国は若者の政治参加を促すため、投票の仕組みなどを学ぶ「主権者教育」に力を入れています。

【1】若者の投票率が低いと、どのような問題が生じますか。記事から読み取って書きましょう。

愛知県新城市には、若者の意見を市の施策に反映させる「若者議会」があります。公募された10〜20歳代の20人が、年間20〜30回の会合を開き、地域の活性化策などを話し合います。アイデアを市長に提案し、市議会でも承認されれば、実行に移されます。これまで、市立図書館に飲食できる自習スペースを設けて若者が集まりやすくする改修事業などが実現しました。

成美 政治参加の大切さを感じられそうですね。

(2024年10月24日 読売新聞朝刊より)

【発展問題】10月27日に投開票が行われた衆院選で、全体の投票率は何%でしたか。

年代別の投票率も合わせて調べ、気づいたことを裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

伝統の立山登山 岐路

◆北アルプス「立山連峰」の頂を目指し、地元・富山県の小学5、6年生が登る伝統行事「立山登山」を実施する学校が激減しています。

(2024年10月8日 読売新聞夕刊より)

「体力が低下し、登頂できない児童が年々増えている」。県内の小学校教頭は、そう言うため息をついた。この学校では、来夏の立山登山の取りやめを検討しているという。

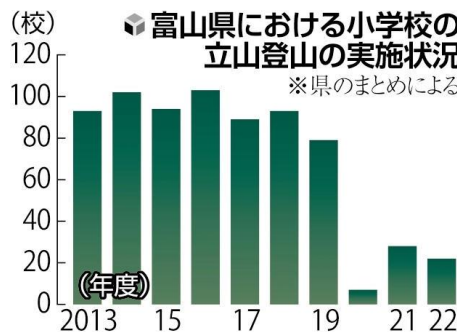
同校ではこれまで、登山1日目に観光道路「立山黒部アルペンルート」の室堂(2450㍎)でバスを降り、雄山(3003㍎)に登頂。山小屋に宿泊し、専門家から自然や歴史の説明を受け、翌日に下山していた。室堂から山頂までは歩いて3時間ほどだが、近年は登り始めてすぐに体調不良を訴える子もいる。

教頭は「夏の暑さや不規則な生活など様々な原因がある。ほかの行事を考える時期に来ている」と話す。

富山県によると、県内の公立小学校では2016年度、全192校の半数を超える103校が立山登山を実施していたが、コロナ禍だった20年度は7校まで激減。21年度に



立山登山に臨む子どもたち。新型コロナウイルスの感染拡大後、実施数が激減している(2018年8月撮影)＝立山自然保護センター提供



子の成人儀礼だった。明治末以降、旧制学校の行事に位置づけられ、戦時期には心身を鍛える訓練となり、戦後に再び学校の行事になった。

当時は、麓の富山地方鉄道の千垣駅(立山町、327㍎)から出発し、3、4泊をかける過酷なものだった。1971年のアルペンルート全線開通で室堂までバスで行けるようになり、小学校行事として定着した。

2003年に児童が滑落死する事故があったため、引率教員は、安全講習会に参加する必要があるほか、参加人数分のヘルメットなどの準備や引率ボランティアも確保しなければならぬ。教員の働き方改革も必要になる中、県教職員組合の能沢英樹執行委員長は「立山登山の意義は理解するが、教員にとって大きなプレッシャーだ」と憂える。

富山市教育委員会では、立山登山の意義を「県内最高峰の立山に登ること、達成感や充実感を味わい、自立心の醸成を促す」と位置づけ、実施する学校などに補助金も交付している。

立山博物館(富山県立山町)によると、立山登山は信仰登山から発展し、江戸時代は男

名古屋大学の内田良教授(教育社会学)の話「宿泊学習は教員にも子どもにも負担が大きく、子どもの心身の不調が生じるリスクが高い。皆が楽しく参加できる学校行事を考えるべきだ」

立山のガイドを務める登山家の佐伯知彦さんの話「立山に登って一人前になるという文化を継承したい。企業や団体なども巻き込み、小学生が安全に登山できる体制作りが必要だ」

【1】「立山登山」を行う小学校が減った理由をまとめましょう。

【2】立山登山の激減や学校行事の変化について思うことを、あなたの経験も交えて裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



猫ピッチャー
Neko Pitcher
Kenji Sonishi

◆ 高校生が打てなかった150キロの速球をバットに当て、得意顔のミー太郎。注目の的となり、張り切りすぎてしまいました。

far out

すごい。ありえない。

「far」は本来、遠くに、はるかに、といった意味です。「out」を付けると、信じがたいといった意味になります。

★こんな表現も使ってみよう★

- That's impossible.
- No way. (いずれも)ありえない
- awesome すごい

単語帳

amazing: 見事な

get carried away: 夢中になる、心を奪う

★なぞってみよう★

far out

awesome

2024 年日本・海外 10 大ニュース まもなく投票スタート！

～今年のふりかえりや時事問題のおさらいに、みんなで投票しよう～

読売新聞社は、2024 年の「日本 10 大ニュース」と「海外 10 大ニュース」への投票を募集します。

日本 10 大ニュースは 1947 年から、海外 10 大ニュースは 1989 年から、それぞれ毎年みなさんの投票で決定し、激動する国内、国際情勢の記録を刻んできた歴史ある企画です。昨年は「日本」「海外」あわせて 4 万通を超える投票がありました。

今年の投票の手引・要領は、11 月 26 日（火）の読売新聞朝刊と、読売新聞オンラインに掲載します。児童・生徒のみなさんをはじめ、誰でも投票できます。一年のニュースをふりかえる機会として、授業や N I E の活動などで活用していただければ幸いです。

「日本」「海外」いずれも、約 60 項目の候補から、順位をつけずに 10 個を選んで投票します。11 月 27 日（水）にお送りするワークシート通信で、応募方法の詳細をお知らせします。ワークシート通信に添付する教材を投票用紙として使えるほか、ウェブ投稿フォームでの投票も可能です。

投票締め切りは 12 月 12 日（木）必着です。結果発表は日本が 12 月 19 日（木）、海外が 12 月 20 日（金）の予定です。

投票項目がすべて 10 位以内に入った「全项目的中」の方は、結果発表時に氏名を掲載し、賞品を贈ります。みなさんの参加をお待ちしております！



※2023 年「日本 10 大ニュース」発表紙面（12 月 23 日付け読売新聞朝刊）

過去の 10 大ニュースや特別企画「戦国 10 大ニュース」も見られる

読売新聞オンラインの「10 大ニュース」特設ページはこちら

<https://www.yomiuri.co.jp/feature/top10news/>



【お問い合わせ】読売新聞東京本社世論調査部「10 大ニュース」係 (t-top10news@yomiuri.com)